



衆議院議員

このチラシを周囲にお配りいただける方募集中!

きいたかし

城井 崇レポート 2018.10-11

きいたかし後援会事務所

〒802-0072 福岡県北九州市小倉北区東篠崎1-4-1-201
TEL. 093-941-7767
FAX. 093-941-5535
メール smile@kiitaka.net
きいたかしウェブサイト
http://www.kiitaka.net

きいたかし 国・北九州市への働きかけで、民有地のがけ崩れ対策が大きく前進 北九州市でも民有地のがけ崩れ被害支援へ



●北九州の災害現場視察と北九州市とのやりとり。(丸囲み内)

きいたかしが地元の地方議員と連携して、政府に提案してきた「民有地のがけ崩れ被害対策」。このたび、国・地方自治体による支援が拡充され、大きく前進しました。これまで、原則として民有地のがけ崩れ被害は国・地方自治体による支援ができませんでしたが、環境省が補助メニューを見直し、特例で補助事業の範囲を拡大、国土交通省の補助メニューと合わせて、被災自治体が直接支援できるようになりました。きいたかしも、北九州市に新たな補助メニューの活用を提案しました。7月の西日本豪雨災害で被災した民有地の土砂混じりがれきを撤去する事業を開始され、被災した250戸の民有地のがけ崩れに支援が行われる見通しです。

きいたかし まずは、災害対応のための補正予算の早期成立を求めます

臨時国会も全力で

優先させるべきは災害対応です。きいたかしは、西日本豪雨、北海道地震や相次ぐ台風での被害の早期復旧のため、補正予算の早期成立を求めています。中央省庁や公的機関で障害者の雇用者数を水増ししていた問題では、閉会中審査を求めてきましたが、いまだ実現していません。きいたかしも一刻も早い審議、問題解決に向けて取り組んでいきます。森友学園決裁文書改ざんの責任を取らない麻生財務大臣や、教育勅語の一部を評価する発言をした柴山文部科学大臣などの閣僚の資質についても、きいたかしも文部科学委員会理事として厳しく追及していきます。外国人労働者の受け入れ拡大のために新たな在留資格を創設するための入国管理法改正案、貿易品目の9割を超える関税を撤廃するEUとのEPA、憲法改正の手続きを定めるための国民投票法改正案についても、臨時国会の審議を通じてしっかりと質していきます。

臨時国会でポイントとなる議論

30年度補正予算

西日本豪雨、北海道地震などの早期復旧

障害者雇用の水増し問題

省庁や公的機関で雇用者数を水増し

閣僚の不祥事

麻生財務大臣の森友文書改ざん等の責任
柴山文部科学大臣の教育勅語一部評価発言

入国管理法改正案

外国人労働者の受け入れ拡大のための新たな在留資格創設

日本と欧州連合の経済連携協定 (EPA)

貿易品目の9割超の関税を撤廃

国民投票法改正案

憲法改正の手続きを定める

きいたかし とともに福岡県政改革に挑む仲間を紹介します

力を合わせて！福岡県の元気づくり！



国民民主党公認・現職3期

小倉北区

原田 ひろし

さん

原田ひろし県議は、北九州市生まれの52歳。民間企業勤務等を経て現在3期目。福祉・医療・教育政策に重点的に取り組んでいます。地域防災では、7月の西日本豪雨災害の対応と急傾斜地対策、紫川の河川改修、商店街振興では巨過商店街の再開発事業、公共交通・交通環境整備、スポーツ振興、街の安全・安心の充実にも取り組んでいます。私の元公設秘書でもある原田県議。これからも小倉北区から地元北九州の元気づくりに共に努力します。



国民民主党公認・元職2期

小倉南区

いずみ ひでお

さん

いずみひでおさんは、北九州市生まれの50歳。高校講師や民間企業を経て、県議を2期務めました。防災対策に熱心で、紫川・東谷川の豪雨対策と一緒に取り組み、福岡県の担当流域の対策工事にメドをたてました。金融面からの中小企業支援も続けています。担当委員長として景気・雇用対策、飲酒運転防止など地域の安全対策にも尽力。捲土重来を期し、自治会やPTAなど、地域貢献のために邁進しています。地域に暮らす皆様の安心・安全を実現するため、いずみさんと共に頑張りたいと思います。



国民民主党公認・新人

門司区

おがた ふみのり

さん

おがたふみのりさんは、北九州市生まれの33歳。家族4人・子育て世代です。現在は、私きいたかしの秘書として、地域の窓口役に力を尽くしてくれています。福祉施設や営業仕事での経験・気づきも活かしながら、地域のお世話役として走り回ります。門司のにぎわいづくり・安全安心の実現へ、私や仲間の県議・市議とも協力して頑張ってくれると確信しています。ぜひ北九州生まれの若い力にご期待ください。

きいたかし 文部科学委員会理事、地方創生に関する特別委員会委員に就任

北九州の経済活性化の後押し 文部科学省やスポーツ界の不祥事を正す

引き続き、文部科学委員会では理事を務めます。文部科学省やスポーツ界の不祥事を正すとともに、公正で、公平な教育機会の確保に尽力します。地方創生に関する特別委員会では、北九州の地域経済の活性化に向けて、国の支援を十分に確保することを念頭に、後押しをしたいと考えています。



衆議院議員 **きいたかし** (城井 崇) のプロフィール

地元北九州で東奔西走。1男2女のパパとしても子育て奮闘中。

1973年(昭和48年)北九州市門司区生まれ。田野浦小、早鞆中、門司高、北九州予備校(2浪)、京都大学卒。松下政経塾、前原誠司代議士秘書等を経て、03年衆院選で初当選。09、17年衆院選で当選(現在3期目)。文部科学大臣政務官、衆院予算委理事等を歴任。現在、衆院文部科学委員会理事、地方創生に関する特別委員会委員、国民民主党広報局長。得意分野:教育、科学技術、安全保障、行政改革。好きな食べ物:ラーメン。